

有事の今こそ、河野太郎
この言葉に込めた想いをお伝えさせてください。

ウクライナ、中東、日本を取り巻く安全保障環境。
国際的な民主主義の危機。

真っ先に頭に浮かぶのは
こうした国際的な有事ではないでしょうか。

しかし、このような狭い意味の有事だけでなく、広い意味での
有事が、今、日本の社会に広がっています。

依然として続く経済の停滞感、物価高、食糧危機、エネルギー
危機、生活への不安、少子化、こどもの貧困、老後の不安、
孤独・孤立、持続可能性に不安がある社会保障制度、地方の
人口減少、異常気象、災害、ジェンダー格差。

私のもとに寄せられる声や、日々多くの方からお聞きする声
からも、大小様々な有事に直面しているのが、今日の日本
なのだと感じます。

政治が立ち止まる一寸の余裕もないにもかかわらず、舵取りを
するはずの我々自民党へのご批判を真摯に受け止め、党改革
も徹底的に実行します。

私はこれまで、押印の廃止やコロナワクチン接種の推進、
デジタル化の促進など、様々な改革を実行して
きました。これらの改革は、当時も今も、批判
がありますが、いずれ振り返れば正しかった
と評価される日が来ると信じています。

これまでとは質の異なる、解決のハードル
が高い有事に挑むいま、口先だけでなく、
傷だらけになりながらも改革を実際に進め
てきた私の長年の経験をすべて活かす。

日本国民一億二千万人、一人ひとりがそれ
ぞれの有事と戦っているなかで、国民とともに
あるべき政治の姿を、今一度示したい。

日本のリーダーとしてこの国をさらに前へ
進めていく所存です。

河野太郎



略歴

昭和60年米国ジョージタウン大学卒業後、富士ゼ
ロックス(株)入社。平成8年衆議院議員初当選、以降
9回当選。平成27年安倍内閣で国家公安委員会委
員長、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府
特命担当大臣(消費者及び食品安全、規制改革、防災)
として初入閣。

その後外務大臣、防衛大臣、ワクチン接種推進担当
大臣、沖縄・北方対策担当大臣を歴任。現在デジタル
大臣、デジタル行財政改革担当、デジタル田園都市
国家構想担当、行政改革担当、国家公務員制度担当、
内閣府特命担当大臣(規制改革)。

UD FONT
by MORISAWA
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています



国民と向き合う心。世界と渡り合う力。
有事の今こそ、河野太郎





日本を前に進めるための5本柱

1

憲法改正

党としての考え方にに基づき、国会の議論を加速し、速やかな発議を目指す

- 有事の際の国防を担う自衛隊の明記（「自衛隊違憲論」の解消）
- 国会や内閣の緊急事態への対応を強化し、緊急事態においても、国会の機能を維持する（難しければ内閣の権限を一時的に強化）仕組みを規定

外交・安全保障

一国平和主義から脱却し、共通の価値観を持つ国々との連携を深め、中国等の脅威への抑止を徹底

- 安保理改革をはじめとして時代に沿った国連憲章の見直しをリードする
- グローバルサウス、特に中東への政治的な関与を深めていく
- 装備品の安定供給とコスト削減のための防衛産業の基盤づくりのために輸出を進める
- 自衛隊の陸海空、及び宇宙、サイバー部隊のバランスの適正化を進める
- 能動的サイバー防御の法制化とサイバー部隊の高度化を進める

3

経済・社会保障・地域活性化

誰もが何度でも挑戦できる「人」が主役、民間主導の経済成長を実現する

- 働く人の賃上げ、企業の成長を後押しする労働市場改革
- 男女の賃金格差及び正規・非正規雇用の格差を是正し同一労働同一賃金同一待遇を徹底する
- 世帯収入を増やすため、労働時間調整の原因となっている「年収の壁」をつくっている控除、手当、保険料を、時間をかけて縮小、廃止する
- 規制改革を断行し、社会課題解決をキーワードに民間主導の投資を創り出す（自動運転、スマートグリッド、GX、廃棄物・循環型経済）
- 人的資本に投資する仕組みを作る（伝統工芸の技術、旋盤など高度な物作りの技術、高度なプログラミング、地域コーディネーター等）
- 増加が予測される電力需要に対応するために、再生可能エネルギーの導入を最大限促進しつつ、安全が確認された原発の再稼働を進めるほか、現時点で可能性のあるエネルギー技術を総動員し、2050年カーボンニュートラルを実現する
- 食料安全保障を確立し、農作物の海外展開を支援する
- 農林水産業の生産コストに配慮した合理的な価格形成を促進する
- 社会保険料が「現役世代の賃金課税」となっていることを改める
- デジタルセーフティネットをつくる（支援の必要な人にはプッシュ型支援を行う）
- 社会課題が集中する厚労省を厚生と労働に分割し、それぞれ専任の大臣を設置する
- 医師確保計画の深化、医師の確保・育成、実効的な医師配置により、日本中どこでも確実に医療を受けられるようにする
- 皆保険を維持しながら医療の高度化に対応するために、民間医療保険を活用する

4

デジタル・改革

「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」の実現。国民と向き合った政治改革

- 子育て世代が必要な情報収集やサービス申請ができる「子育てDX」を全国に拡大し、子育て世代を徹底的に働きやすくする
- 移動が困難な高齢者のためのオンライン診療の充実など、デジタル技術を駆使して高齢者をサポートする
- 効率的なデジタル化のために民間事業者間の共創分野について行政が積極的に調整する
- 国政選挙・地方選挙の被選挙権を18歳に引き下げる
- 在外邦人のオンライン投票を可能とし、問題がなければ国内の選挙へ拡大する
- 倫理的課題については、党議拘束を外して採決できるようにする

防災・危機管理

「防災4.0」（行政だけでなく一人一人が災害のリスクと向き合う考え方）により災害に強い社会をつくる

- 霞が関に災害対応の経験のあるスタッフを増やす（各省庁の幹部候補は、防災監の下で防災対応を行うようにする）
- 発災前のリスクの可視化や、被災者に寄り添う避難所運営を実現し、復旧・復興にも役立つ防災DXを実現する
- 食糧自給率、燃料自給率、医療（薬・ワクチン）3つの「りょう」を守る
- 首都機能のバックアップ体制を構築し、運用する



河野太郎の最新情報を
発信しております

公式サイト

総裁選特設サイト

Facebook

X

Instagram

YouTube

